

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月30日

事業所名：川崎市北部地域療育センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	4	やや狭く感じることもあるが、パーティションを使用する等工夫している。 活動空間を分けることで適切スペースの調整をしている。	居室スペースは活動の設定や環境の設定で調整していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	7	10	子どもの人数に対してやや多い。 子どもの状況に合わせて、クラス担任以外の大人が必要に応じたサポートに入っている。 配膳・下膳時や活動内容によりフォロー要員を調整することで適切。	川崎市基準に沿った配置を基本とし必要に応じてフォロー体制を調整していく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	8	支度をする場所はパーティションやカゴの配置、机、いす、カゴを用意して行っている。 パーティションなどを使い工夫している。 見てわかるよう、視覚的に情報を提示している。 各活動や各場面での構造化、全体、個別への伝達の配慮は工夫の余地があると思われる。 構造化されていない部分で子どもたちにとって分かりにくいところもある。	子どもにとって、わかりやすい工夫を引き続き検討していく。
	④ 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	4		川崎市と協議し老朽化書を随時改修していく。（次年度は照明のLED化）
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	10	クラスで反省会を行う。	リーダー会議、クラス間の会議、全体の会議は設定しているが、どの内容をどこで検討し、決定していくかを整理し議論しやすい会議が設定できるようにしていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	3	アンケートの実施をしている。 センター長・園長懇談会を実施している。	どのような意見がありどのように対応したか、共有していく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	6		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	5	第三者評価を行い、評価されている点を踏まえて必要な業務改善につなげている。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	7	外部研修の報告会を行っている。 法人研修や、年2回自分で研修に行く機会を設定している。	
適切な支援	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	16	2		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	6	生活シートとして標準化している。 個人記録に支援計画の内容を連動させている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	2		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0		
⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	5	日々のミーティングはクラス職員全員が参加し活動の振り返りを行い次回の企画の検討も行っている。		

援 の 提 供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	4	お子さんの発達状況や障害によって内容を変えている。 日々のミーティングを通じて、活動内容の検証を行い必要な変更や調整を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成しているか	13	3	個別活動はほぼないが、個別の段階に応じた設定をするなどの工夫をしている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	18	0	朝の打ち合わせをしている。 意見をもらったり提案したり協力してやりとりを行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18	0	療育後振り返りをクラスで行い、情報共有している。 次回に向けて、前向きに話し合いができています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	0	個別支援計画の目標に対してどのような変化が見られたかという点を中心に記録をつけることで支援の検証・改善につなげている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	4	ソーシャルワーカーとの打ち合わせを含めた会議には、クラス担任や児童発達支援管理責任者が参画している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	3		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	1		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	0		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	3	併行クラスの園訪問で情報を共有し、担任の相談を聞き、センターでの取り組みを伝えている。	必要な情報のやり取りができるようにしていく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	8	母集団の年長は毎年様子を見て情報を伝えている。	センター内で実施されている連携が共有できるようにしていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	10		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	17	保育園交流、公園での遊びを通して行っている。	保護者のニーズも確認し実施について検討していく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	11	ソーシャルワーカーが参加している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	0	親子登園時クラスでの様子を伝え家での状況を把握し、理解を深めている。 積極的にコミュニケーションをとるよう努めている。	
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	10	勉強会など開催している。 保護者に対しての講座等、開催数が他センター・法人に比べると少ないと思う。	保護者へのプログラムを随時検討していく。	
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	2	センターの利用が始まる前に伝えている。		
㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	0			

保護者への説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	3	面談など保護者から申し出が出た場合に早めの対応を心掛けている。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	9	勉強会で父母との関りを持つ時間を設けている。 父親交流会を実施している。	
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1	面談など保護者から申し出が出た場合に、早めの対応を心掛けている。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	4	ホームページやおたよりで発信している。 クラスのおたよりを毎月発行している。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17	0	写真の取り扱いなどに注意している。	
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	1		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	13	5	ほくほく祭り（センター祭り）を開催している。	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	8		職員全体で共通認識できるよう読み合わせをするなどで徹底する。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18	0	月1回の避難訓練を行っている。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	16	2	オリエンテーションやアセスメントなどで確認し、安全に配慮している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	3	保護者に聞き取り（必要に応じてNSや栄養士が聞き取り）、主治医の指示書をいただいている。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	4	ヒヤリハット委員会を設置し研修等で周知している。	職員間で共有できるよう徹底する。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	4		虐待防止委員会の設置や研修の実施をしていく。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	6	バスの利用、安全面の配慮などから座位保持装置などで体を固定が必要な場合、保護者から同意をいただき、支援計画に記載している。	